

新任教員・昇任教員紹介

新任教員

平成24年7月1日付

歯学部 助教
(生体機能・病態学系(組織再建口腔科学)) 日野 純
任期制助手
(口腔機能修復・再建学系(咬合再建補綴学)) 中村 健二郎

平成24年9月1日付

リハビリテーション科学部 助教(理学療法学科) 長谷川 純子

昇任教員

平成24年7月1日付



歯学部教授
(口腔生物学系(生理学))

石井 久淑 (いしい ひさよし)

PROFILE

本学歯学部卒業。本学歯学部講師、同大学院歯学歯学研究科講師等を経て教授就任。歯学博士。

平成24年8月1日付



歯学部講師

(生体機能・病態学系(顎顔面口腔科学))

草野 薫 (くさの かおる)

PROFILE

本学歯学部卒業。同大学院歯学歯学研究科博士課程修了。京都府立医科大学附属病院研修歯科医、本学歯学部助教等を経て、講師就任。歯学博士。

〈学生キャンパス副学長制度〉

第5期Student Campus President 決定!

本制度は、より良い大学づくりを目指して、教員・職員とともに学生たちにも大学生活にかかわる各種プロジェクトの企画立案に参加してもらおうとスタートしたものです。今年のSCPが選任されましたので、ご紹介します。新SCPの活動状況については、随時、SCPホームページにて報告していく予定ですのでぜひご覧ください。なお、薬学部SCPについては、現在、立候補者を募集しており、決まり次第ご報告いたします。

■Student Campus President <学生キャンパス副学長制度>について

- 活動 / ブランディングプロジェクトの企画・実施
 - キャンパスカンファレンスの実施
 - 国家試験対策
 - 学内施設・サービスの改善
 - ブランドグッズ・商品開発
 - エコ対策 等
- 人数 / 4名(各学部から1名)
- 任期 / 1年間(8月から翌年度7月)再任なし
- 選出 / 立候補による選挙制
- その他 / 活動室の利用、活動費支給、プレザー支給



SCPホームページ <http://scp.hoku-iryo-u.ac.jp/>

歯学部 歯学科 2年

大平 禎 (おおだいら ただし)



看護福祉学部 臨床福祉学科 2年

下房地 宏 (したぼうじ ひろし)



心理科学部 臨床心理学科 3年

内村 元 (うちむら はじめ)



「変革の年へ向けて」

2013年にリハビリテーション科学部が新設され、本学は5学部8学科の医療系総合大学となります。

私は、学部・学科間の連携が出来る環境作りを目指します。保健・医療・福祉を担う学部・学科を越えた繋がりが、他の医療専門職を良く理解する上では欠かせない上に、このことを学生の時から意識することで、将来自分たちが行う他職種と連携するチーム医療に活かせることを確信しているからです。

垣根を越えた学生の方々と一緒に良い環境作りをしていこうと考えておりますので、どうぞ皆様ご協力の程よろしくお願い致します。

「医療大の持てる強さを活かす為に」

チーム医療の重要性が唱えられている現在、医療系総合大学であり、学生の段階から他職種を志す者達と交流できる、という本学の特徴は将来の医療人を育成するにあたっての大きな強みです。

しかし現状では、他学部の学問に触れる機会は、まだ一部の科目に限られています。SCPとして、本学の強さをより引き出すために、学生自らが能動的に動き、日常的に他学部の学生との交流を図る試みや、意見交換のできる講義の提案を実現したいと考えています。

皆様のご助力をいただきながら、考え、実践していけるよう努力して参りますので、よろしく願いいたします。

「誇りの持てる学生生活を」

私たちの学生生活が、学外の友人に自慢できるような、誇らしく思えるような、そんな大学づくりを目指します。学生が普段何気なく思っていることを大切にして、学生の声を発信し、それが身近に反映されるような取り組みを行っていきたく考えています。

心理科学部SCPは札幌あいの里キャンパスが活動の中心となりますが、他のSCPと協力し合いながら、大学全体の動きとなるようなアイデア・企画を実現できるよう頑張ります。一緒に、医療大に入学してよかった、医療大を卒業してよかったと思える学生生活を創造していきましょう。よろしく願いいたします。

REPORTS

English language & cultural seminar in Canada.

[University of Alberta]



カナダ・アルバータ大学語学研修レポート

去る8月4日(土)～8月24日(金)までの21日間にわたり、薬学部4名、看護福祉学部8名、心理科学部1名、計13名の学生と教員3名が、カナダ・アルバータ大学の語学研修に参加しました。研修を体験してきた学生たちの研修レポートをお届けします。

「あっという間の3週間」

●薬学部薬学科 5年 近江和加

今回の研修が初めての海外旅行だったので、ちゃんと英語を話せるか、3週間は長いなあ、ホストファミリーはどんな人だろうなど、不安がたくさんありました。しかし、カナダで過ごした3週間は毎日とても充実していて、本当にあっという間に過ぎました。午前中は英語の授業、午後は様々なアクティビティがあり、放課後は色々な所に遊びに行きました。Pharmacy Tourではカナダの薬学部のカリキュラムを教えてください、実際に調剤薬局の中を見るなど、とても貴重な体験ができました。しかし、一番思い出深いのは2泊3日で行ったカナディアンロッキーです。たくさんのきれいな景色を見たこと、リスやヘラジカなどの野生動物に会ったこと、レイクルイーズでカヌーに乗ったこと。どれも忘れることができない大事な思い出です。もし機会があれば、今回一緒に行ったメンバーでまたカナダに行きたいです。そして、今回の研修を通じてもっと英語を話せるようになりたいと思うようになりました。しかし、英語よりも苦労したのは蚊だったと思います。夏のカナダに行く人は、蚊に注意してください!

「カナダで得たもの」

●看護福祉学部看護学科 2年 米沢康佑

今回、3週間という短い期間でたくさんの経験をしました。午後のアクティビティでカナダの医療、文化、歴史について学び、日本との相違を考えることで自分の国についてより知ることができました。実際に英語が公用語として使われている国に身を置くことで、こんなことを英語で言えたらいいのに、これは英語でなんていうのだろうと思い、英語の勉強を頑張ろうというきっかけ、刺激になりました。これから英語の勉強を頑張ろう、またカナダに行きホストファミリーや現地の人ともっとたくさん話したいと思いました。またロッキーでの2泊3日やパーティや放課後にカナディアンフットボールの試合を見にいたりサイエンスにいったりしたことは、今後忘れることのない思い出です。そして学部学科、学年を越えてとてもよい人間関係に恵まれました。医療大学の人はもちろん、同じように語学研修できている日本各地の大学生と出会い、友達になれたのもこの研修の大きな収穫だと思います。本当に毎日が充実し、あっという間の楽しすぎる3週間でした。

